

都市再生整備計画(第4回変更)

たど
多度地区

三重県 くわな
桑名市

平成26年3月

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	三重	市町村名	桑名	地区名	多度地区	面積	397.7 ha
計画期間	平成 23 年度 ~ 平成 27 年度	交付期間	平成 23 年度 ~ 平成 27 年度				

目標
 大目標：自然に包まれ、伝統が息づく、癒しの里づくり
 小目標：多度を訪れる来訪者が満足できる、おもてなしの環境づくり
 小目標：豊かな自然資源や歴史・文化資源を結び、安全で魅力あふれるおもてなし・くらしのみちづくり
 小目標：地域住民が元気で快適に活動し、伝統・文化が息づく地域活力の創出に向けたくらしの環境づくり

目標設定の根拠
 まちづくりの経緯及び現況
 多度地区は、平成16年に桑名市と合併した旧多度町の中心的な地域であり、多度山に象徴される養老山地とそれに連なる山あい位置し、その地形は南部方面の丘陵地的な景観と、東部方面の七郷輪中に代表される低くて平坦な水郷地帯としての顔を合わせもっています。
 観光については、多度大社をはじめ、多度山、多度峡(滝・天然プール・ほたるの里)や国指定天然記念物のイヌナシ群等の観光資源を有しています。
 多度大社は、5月に開催される『多度祭り(上げ馬神事)』と11月に開催される『流鏝馬祭り』の2大祭りが桑名市内でも有数の観光イベントとなっており、年末年始と2大祭りを中心に年間130万人余が訪れています。しかし、多度大社前の駐車場は、公共の駐車場が1箇所(50台余)と狭く、住民が整備した駐車場(砂利舗装)を臨時的に利用しているものなお、十分な駐車スペースが確保されていない現状です。また、併設する公衆トイレは老朽化が進行しており、バリアフリー化への要望も高まっています。
 多度山は、自然環境や森林環境を気軽に楽しめる癒しの場としての人気が高く、名古屋、四日市方面等からのハイカー等も徐々に増加し年間6万人余が訪れています。しかし、山々は、松林等の針葉樹林帯で、松くい虫による被害木が拡大し、景観が損なわれてきています。これらを改善するため、抜倒駆除による被害防止対策や、桜・紅葉の植栽や間伐をおこなうボランティア団体の育成にも取り組んでいます。
 多度峡は、天然プールやみそぎ滝など、豊かな自然にふれあえる場所として、多くの来訪者が訪れています。しかし、多度峡周辺には駐車場が不足しているほか、多度峡は3mに満たない狭い道路しかなく、楽しく安全に散策できる環境となっておりません。
 近年は、多度大社並びに多度峡周辺地区を中心にテレビ・新聞等で観光PRを行い、多くの来訪者が訪れている中で、上記の問題が顕著に現れてきています。
 最寄の養老鉄道多度駅から古い町並みを經由して多度大社へ向かう幹線市道(香取多度線)や市街地内の道路は、幅員が狭く歩行者の安全が十分に確保されていないほか、歩行者が快適に散策するために必要な散策路や公衆トイレ等の施設が整っていないことから、多度大社等への来訪者をまちなかに回遊させることができず、地域の活性化の課題となっています。
 平成18年に実施した健康意識調査においては、「運動を行っていない」との回答が多く、その理由として「施設や機会がない」、「若者から高齢者まで、誰もが気軽に利用できる健康増進施設等を地域に設置して欲しい」との回答が寄せられています。

まちづくりの課題
 ■観光資源周辺に駐車場やトイレ等の施設が整っていないため、地域の付加価値を高める施設等の整備を推進する必要がある。
 ■歩行者が快適に散策するために必要な散策路が整っておらず、また、幹線市道等は、幅員が狭く歩行者の安全が十分に確保されていないため、地区内の回遊性を高める整備を推進する必要がある。
 ■健康増進のニーズが高まっているため、地区住民が日々の生活において健康の維持・増進を図ることができる施設の整備を推進する必要がある。

将来ビジョン(中長期)
 「桑名市都市計画マスタープラン」では、地域まちづくり構想として、自然環境の維持、市街地整備、観光資源の整備の3つを掲げている。
 「桑名市緑の基本計画」では、多度山・多度大社周辺は重点緑化地区として設定しており、目標像として『歩いて楽しいまちづくりに向けた「桜と紅葉の回廊」づくり』を設定している。
 「桑名市観光振興プラン」では、重点戦略として『川と街道の文化にふれあえるにぎわいの舞台環境づくり』を設定している。
 「歩いて楽しいまちづくり調査報告書」では、都市再生プロジェクトとして、①歩いて楽しいまちづくりによる多度のまちの再生、②ホースライドトランジットによるまちづくり、③多度を生かす桜と紅葉の回廊づくりを掲げている。
 「多度のまち ふるさとづくり構想」では、以下の4つの方針を掲げている。
 ①多度山の自然が生み出す魅力の磨き上げ…枯れた松の伐採と桜や紅葉の植栽活動による「桜と紅葉の回廊づくり」を進め、美しい景観を形成するとともに、眺望を妨げる樹木の伐採等により、眺望確保のための山の管理を進める。
 ②多度の伝統を引き継ぐ新たなシンボルの形成…馬を運行する馬車道を整備するとともに、馬にまつわる歴史を知ることができる機能や馬関連の遊び、体験機能などを中心とした拠点施設の整備を進める。
 ③健康をテーマとした新規魅力の開発…温泉を活用した健康増進施設を起點に運動、入浴、香、食等を組合わせた健康プログラムを開発・提供し多度のまちのシンボルとなるようアピールしていく。
 ④多度の自然の恵みが満喫できる体験機能の充実…農産物を活用し収穫体験、加工体験、食事、農産物購入等、来訪者が多度の自然の恵みを感じる機会を設け、多度の魅力アップを図る。

目標を定量化する指標

指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	基準年度	目標値	目標年度
観光客入込客数	人	三重県観光レクリエーション入込客数推計書における多度大社及び多度山上公園の年間入込客数	「観光客入込客数」を把握することで、地域の付加価値を高める施設整備の効果を把握する。	1,368,150	H20	1,436,560	H27
観光施設周辺の利便施設等の満足度	%	地区市民の意向調査において、「観光客向けの利便施設が十分に整っているか」等の設問に対し、「思う」、「少し思う」と回答した方の割合	「観光施設周辺の利便施設等の満足度」を把握することで、地区内の回遊性を高める整備の効果を把握する。	12	H22	21	H27
健康維持に対する施設の満足度	%	地区市民の意向調査において、「健康の維持・増進を図ることができる施設が充実している」との設問に対し、「思う」、「少し思う」と回答した方の割合	「健康維持に対する施設の満足度」を把握することで、健康の維持・増進を図ることができる施設整備の効果を把握する。	8	H22	15	H27

多度地区(三重県桑名市) 整備方針概要図

目標	大目標	代表的な指標	観光客入込客数(人)	1,368,150人(H20) → 1,436,560人(H27)
	自然に包まれ、伝統が息づく、癒しの里づくり		観光施設周辺の利便施設の満足度(%)	12%(H22) → 21%(H27)
			健康維持に対する施設の満足度(%)	8%(H22) → 15%(H27)

